

県内百貨店・主要小売店10月実績

●百貨店	売上高		客数
岐阜高島屋	2.9		▲3.3
●小売店	売上高		客数
	全店	既存店	
バロー	3.9	3.4	0.7
Vドラッグ	5.6	0.6	1.9
ホームセンターバロー	2.4	1.8	▲2.4
セリア	6.4	1.2	1.0
ヒマラヤ	▲0.8	0.0	▲3.0

※数字は前年同月比の増減率。▲はマイナス。Vドラッグは中部薬品など5社の合計。ホームセンターバローはホームセンターバローなど3社の合計



県内の百貨店・主要小売店の10月売上高実績(速報値)は、売上高(小売店は既存店売上高)で6社のうち、5社が前年同月を上回った。新型コロナウイルス対策の緊急事態宣言の解除、前年同月より日曜日が1日多かったことが売り上げの増加要因となった。

岐阜高島屋は、ネット通販の売り上げが前年同月比約2割増とけん引。北海道物産展のほか、おせちの申し込みも

10月の百貨店 小売店売上高 5社、前年を上回る

好調で売り上げに寄与した。バローは売り上げ、客数ともに2カ月連続で前年同月より増えた。Vドラッグは既存店売上高が今年1月以来、前年同月を上回った。

ヒマラヤは店舗数が前年同月比で6店少ないため、全店売上高が下回ったが、アウトドア、ゴルフ関連の売り上げは堅調で既存店売上高は増減なし。担当者は「下旬に気温が下がり、秋物商材の動きが良くなったことで月始め(の苦戦)から盛り返した」と言う。セリアはアニメのキャラクター関連商品の売れ行きが好調だった。